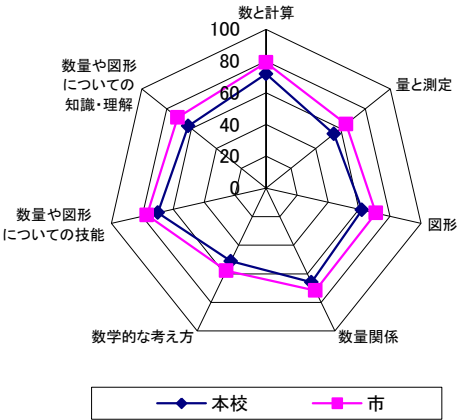


宇都宮市立宝木小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	71.8	79.0	78.9
	量と測定	54.6	64.6	66.2
	図形	62.0	70.9	77.8
	数量関係	66.0	71.6	66.6
観点別	数学的な考え方	51.2	57.8	54.8
	数量や図形についての技能	69.9	76.9	75.2
	数量や図形についての知識・理解	62.7	71.3	75.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	●小数の計算では、小数×小数の計算において66.7%と市より11ポイント低い。また分数×分数の計算において約分が1回においては80.2%と10ポイント低い。また約分が2回の問題においても75.7%とそれぞれ14ポイント低い。 ○小数÷小数の問題においては、87.4%と市よりも1%高い。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・問題用紙と結果を配布された際に再度問題に挑戦したり、学年末において5・6年生の単元を復習したりすることで定着を図るようにする。
量と測定	●速さの問題においては、速さと道のりの関係からかかる時間を求める式を選ぶ問題では67.6%と市よりも6ポイント低い。円の円周を求める問題では31.5%、面積を求める問題においては61.3%と双方とも13ポイント低い。 ○分速を時速に求める問題では48.6%と市と同じような結果になった。また、単位量当たりの計算においても24.8%と市と同じような結果となった。	・速さにおいては公式を再度復習するとともに、時速・分速・秒速の変換方法についても再度確認し復習させたい。 ・円の面積や三角形、平行四辺形、台形などの面積を求める公式を復習しながら確認し、定着させていく。
図形	●点対称な図形の作図においては、73.9%と10ポイント低い。また、線対称や点対称かを説明の中から正しく判断する問題においては55.7%と13.6ポイント低い。 ○合同な三角形の作図においては、88.3%と市と同じような結果となった	・線対称と点対称の学習においては、どちらが線対称でどちらが点対称かの判断ができていない面が見られたので、6年生の復習において定着を図るようにする。
数量関係	●円グラフから割合を読み取り、比較量を求める問題については、55%と市よりも5%低い。 ○文字式の式で一方の値から他方の値を求める問題においては、74.8%と市と同じであった。比例や反比例の問題においても比例の問題をxやyを使って式に表わす問題では、91.9%と市と同じであった。円グラフから割合を求める問題においても92.8%と市と同じであった。	・割合と比の応用問題においては、復習の時間を設けて確認しながら進めることで定着を図っていく。